地域活性化伝道師プロフィール

分野			
地域産業・イノベーション・農商工連携	○	農・林・水産業	○
地域医療、福祉・介護、教育	○	観光・交流	◎
地域コミュニティ・集落再生	○	環境	○
地域交通・情報通信	○	まちづくり	◎

項目		内容
ふりがな		よしい　やすし
氏　名		善井　靖
所属	名　称	一般社団法人　well f.m.
所属	役　職	ファウンダー・理事
連絡	住　所（非公開）	〒 - - 　　　　　　　　　　　-
連絡	連絡先（公開）	E-Mail kikakuyakoumon[アットマーク]gmail.com
連絡	連絡先（公開）	TEL　090-9011-1241　　FAX　-
連絡	連絡方法	E－Mailでお願いします

略歴

「点を面に」「消滅を持続に」 あきらめを希望に変える地域活性化伝道師

佐渡島出身。
2004年新潟県佐渡観光立て直し事業「佐渡百選」の企画運営に携わり、故郷佐渡島の危機的状態を認識し、民間が主導する佐渡活性化活動に着手。2005年、野口健佐渡環境学校を招聘し、事業主体社として活動開始。2005年、お笑い芸人を半年間佐渡に滞在させ、ネット動画とblogで佐渡情報を毎日発信する「佐渡、お笑い島計画」をスタート。07年「佐渡、お笑い島計画」は、google検索で吉本興業を抜く人気コンテンツとなり、民間主導の地域情報発信に新たな手法を確立する。

08年からは「地域に手厚い」国家施策を組み取り、地域を元気にさせる活動を推進。山形県長井市、秋田県男鹿市において「日本版DMO」形成のアドバイザーを務め、行政職員、市民とともに、自律自走する「観光まちづくり」の実践を行っている。

16年からは、茨城県鹿行DMOアドバイザーを務め、鹿行地域の魅力を生かした新たな観光ブランドの創出や交流人口を増やすために、地域全体の観光マネジメントを一本化する目的で、茨城県鹿行地区の5市（鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市）を中心に「アントラーズホームタウンDMO」を設立した。日本で初めて、プロ球団が参加したDMOとして注目を集めている。

17年には、観光庁後援の「観光マーケティング実務責任者養成講座」を開発し、DMOの為のマーケティング責任者の養成を展開している。また、メジャーリーガーの大谷翔平選手やラグビーの五郎丸歩選手らが飛躍するきっかけとなった目標達成のメソッド「原田メソッド」認定パートナーの資格を持ち、観光再生に向かう自治体・DMO職員に対して「成功は技術である」を普及啓蒙している。

○内閣府「地域活性化伝道師」・内閣府「クールジャパン地域プロデューサー」
総務省「地域力創造アドバイザー」・観光庁「広域観光圏専門家」「世界水準のDMO専門家」・農水省「農泊地域専門家」
○秋田県秋田市・三種町・能代市・男鹿市観光アドバイザー・山形県長井市アドバイザー
○アントラーズ ホームタウンDMO（茨城県鹿行地区5市）アドバイザー(歴任)、
茨城県古河市、大阪府羽曳野市DMO推進アドバイザー・市川三郷町地域力創造アドバイザー　(歴任)
◎環境省　中部山岳国立公園管理事務所　松本高山Big Bridge構想全体ファシリテーター(歴任)

・JACE認定イベント業務管理士一級
・原田メソッド認定パートナー
・SUPA 日本スタンドアップパドルボード協会　公認インストラクター

著作・論文等

ピーオーピー出版「企画屋道場」(展コミにて連載)・ピーオーピー出版「エモーショナルバリューのすすめ」(展示会とMICEにて連載)・イベント学会15、16、17、18、19年度研究発表 「エモーショナルバリュー　感情価値向上のマーケティングと地方創世の実際」・一般社団法人日本地域広告会社協会『観光マーケティング実務責任者養成講座』(観光庁後援・テキスト作成)・一般社団法人日本地域広告会社協会『古民家ツーリズムまちづくりプランナー』(テキスト作成)

取組概要

うぶすな（2000年8月～）創業　　現在、合同会社に組織変更。
事業内容：コンテンツ制作事業
資本金：5,178万円、売上高：2.8億円（10年度）、従業員数：最大時51名

・01年、小泉内閣タウンミーティングネット中継イベント・プロデューサー
・03年、新潟県佐渡観光再生事業「佐渡百選」企画立案・事業プロデュース
・05年、「野口健、佐渡環境学校」招致・事業プロデュース
～「佐渡お笑い島計画」企画立案・事業プロデュース
・07年、TOYOTA GAZOO MURA事業プロデュース～農家民泊開発
NTT「知恵の笑い」企画立案・事業プロデュース
・10年、秋田営業所開設・観光アプリ「おもてなび」企画立案・事業プロデュース
・12年、日本webデザイナーズ協会より、グランプリ・審査員特別賞を受賞。
BtoB広告協会より、web部門銅賞を受賞。

2007年から2010年、トヨタ・ガズームラのコンテンツ開発担当として、全国の農家民宿・漁師民宿の情報発信を指導。2009年、金沢市で開催された「第1回ラグジュアリーライフスタイル国際会議」の演出とハイエンドインバウンド向け映像制作を担当。

2010年度から秋田市観光アドバイザーに就任。観光あきた維新を掲げる市役所とともに、市民参加型観光情報 サイトの構築、中国放送局を招聘し秋田地域産品と観光地の紹介を中国およびASEAN各国に衛星放送を通じて番組配信しながら、秋田産品の販路拡大とインバウンド旅行開発を仕掛け、また、秋田に着地したインバウンド観光客に対しスマートフォンによる多言語観光ガイドの仕組創りを行う。

2016年茨城県鹿行DMOアドバイザーを務め、鹿行地域の魅力を生かした新たな観光ブランドの創出や交流人口を増やすために、地域全体の観光マネジメントを一本化する目的で、茨城県鹿行地区の5市（鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市）を中心に「アントラーズホームタウンDMO」を設立。
DMOの自主財源を確保する手段として「DMOでんき」を開発し、鹿島臨海工業地帯に導入して、DMO立ち上げ段階からの安定財源確保を成功させる。

自らが開発した自律自走する観光地経営のメソッド「うぶすなソッド」をDMO並びにDMOを目指す自治体に指導。自らが開発した感情価値向上のマーケティング戦略「Emotional Value Marketing」の啓蒙普及セミナーの実施。「Emotional Value Marketing」は、イベント学会にて、15年から4年連続で学会発表を行う。

19年11月より、横浜市の助成金を頂き、「夜のバリアフリーマップ実証実験事業」を開始。障害を持たれた方、車いすの方等が「夜のまちを楽しむ為のガイドマップ」をwebサービスとして提供し、横浜における「ユニバーサルツーリズム」を開始。

2021年環境省中部山岳国立公園・松本高山Big Bridge構想の全体ファシリテーター役として、松本から高山市一帯の40近い団体の意見取りまとめと戦略策定のリーダーを担当する。
並行で、音声配信番組『耳活週刊 みんなのBig Bridge!』を開始し、音声による域内外のプロモーション活動を展開する。

well f.m.一般社団法人　創業　～　理事（2022年3月～現在）
事業内容：企画・コンサルティング事業
基金：70万円、職員数：7名

well f.m.一般社団法人は、大学教授、ウェルネスツーリズム実践者、アドベンチャーツーリズム実践者、管理栄養士、温泉療養士、内閣府地域活性化伝道師、メディア編集者等の理事で構成される「ウェルネス」及び「ウェルネスツーリズム」の普及に特化した企画会社。22年3月1日に設立され、顧問をウェルネス研究、ウェルネスツーリズム研究の第一人者である荒川　雅志氏(国立大学法人琉球大学 国際地域創造学部／観光科学研究科 教授・医学博士)が務めます。

2022年以降も旅行規制が続き、セルフケアやウェルネス、ストレス解消により多くの時間やお金を費やしたいという消費者欲求が今後も高まると予測し、業態別にウェルネスツーリズム要素を付加させるサービス【+ wellness 】あなたの事業にwellnessをプラス!を提供開始し、事業推進をより加速させる為、国立公園・国定公園内及び周辺の事業連携法人内に研究拠点を全国五カ所に開設し、自然・人・地域とのつながりを創るツーリズム=「つながりツーリズム」を創出します。

◎well f.m 研究拠点(3月20日現在)
1) 沖縄Lab　国立大学法人琉球大学　ウェルネス研究分野内
2) 富士五湖Lab　富士河口湖町西湖 くう株式会社内
3) 増富Lab　秩父多摩甲斐国立公園　株式会社塚原緑地研究所内
4) 乗鞍Lab　中部山岳国立公園　株式会社信州未来づくりカンパニー内
5) 佐渡ヶ島Lab　佐渡弥彦米山国定公園　 旧浦川小学校隣接民家内
◎事業領域
A:ウェルネスツーリズム事業
1)コンテンツ開発　2)食メニュー開発 3)事業コンサルティング 4)旅行業3種に基づく企画旅行商品の提供
B:メディア事業
1)調査・政策提言　2)データ分析・提供　3)出版　4)広告事業
C:人材育成・教育事業
人材育成プログラムの開発、提供
D:不動産事業
エリア開発・古民家等高付加価値化による不動産事業
◎提供サービス
【+ wellness】あなたの事業にwellnessをプラス!
1) workation +
2) ONSEN +
3) Ryokan +
4) Camp +
5) D.M.O. +
6) SAKE +
7)「にげ旅 ©」+
8) 人材育成講座
9) 事業コンサルティング
10) メディア戦略策定・広告宣伝

メッセージ

23年間経営者をやってきました。その間、ITバブル崩壊～リーマンショック～3.11 と幾度と壊滅的な経営環境に追い込まれながらも、危機を乗り越えてきました。

日本は、「起業しにくい国」です。なぜならば、経営者に対する連帯保証が厳しく、ダメだったときに再起が難しい国だからです。それは、ローカル都市であれば尚更都市のスケールメリットを享受しにくく、起業が難しい状況であります。私は、自分の乗り越えてきた道を次世代の若者達に伝え、日本各地から観光による地域再生を実践し、ローカル都市に光を指す事を、職業人としての道として、全うしたいと考えています。

56歳にして、日本スタンドアップパドルボード協会認定インストラクター資格を取得しました。海、河、湖、スタンドアップパドルボード(SUP)はどこでも展開可能で、海と山に囲まれた日本には最適な「水回りのスポーツ」です。観光による地域再生の手段として、SUPの普及を目指しています。合わせて、まだ見ぬ「孫」や近所の子供たちにSUPを教える『SUP爺さん』が近未来の自画像です。

22年3月にwell f.m.一般社団法人を創業し、人々が最も幸せに生きる= well-beingの状態を研究、ツーリズムという手段を通して、人々が生き生きと暮らせる日常を実現しています。wellはwell-being、f.m. はfind myself の略。「最良の状態を自分で見つける」ことを意味しています。職業人生の集大成をwell f.m.一般社団法人で達成しようと日々奮闘しています。

関連ホームページ

◎well f.m.一般社団法人
URL: www.wellnesstourism.co.jp
・「増富発ウェルネスツーリズム・モニターツアー」
https://www.hamakei.com/tieup/7/
・「中部山岳国立公園南部地域×ウェルネスツーリズムの今とこれから」
https://matsumoto.keizai.biz/headline/3524/
・地域資源の新たな魅力「中部山岳国立公園南部地域×ウェルネスツーリズム」
https://matsumoto.keizai.biz/tieup/4/
・セミナー「ウェルネスツーリズムの可能性について」
https://www.hamakei.com/headline/11959/
◎耳活週刊 みんなのBig Bridge!
https://stand.fm/channels/610b8ed175cffe554538fe38
◎西湖ワーケーション協議会
https://newnormaltourism.jp/81a55mjk/
https://www.facebook.com/saiko.workation.saikooo/
https://mtfuji.keizai.biz/headline/1592/
https://www.hamakei.com/tieup/3/
◎地方創生懇談会
https://lfb.mof.go.jp/tokai/content/000269216.pdf
◎誕生まで15年「うぶすなメソッド」全国の観光再生へ
http://tma.yokohama/tma.yokohama/wp-content/uploads/ubusuna_method.pdf
◎感情価値向上のマーケティング活動//Emotional Value
https://qiita.com/kikakuaykoumon/items/09ebf300a78efc162ac4
◎原田メソッド認定講師
https://harada-educate.jp/archives/lecturer_g/2120/
◎日経「COMEMO」でコラム連載スタート。
https://note.mu/yoshiiyasushi
◎「ナイトタイムエコノミー」促進のためのアプローチを考える
https://youtu.be/cypzTO6IVvM
◎アントラーズスタジアムキャンプ・ドローン映像
http://bit.ly/2F4PSDO

活動エリア：全国

※ 公開できる情報のみ掲載しています。
※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。
※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。